



緊急質問

最終日の13日、開会早々、佐竹政治議員から緊急質問の申し出があり、全会一致で同意しました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

市民交流エリア準備委員会での発言について

質問 市長は10月21日開催の準備委員会で、水原バイパスは過去に旧水原町議会が反対決議をしたから遅れたと発言しており、また、その後も自身のインターネットのブログで、旧水原町議会時代にバイパスの反対決議がなされて頓挫したと発表している。

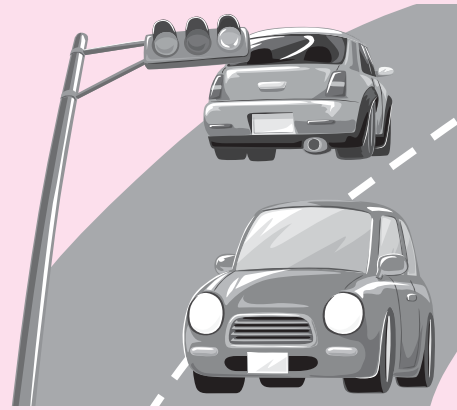
しかし、事実は昭和55年12月議会において、集落が分断されて自治機能が維持出来ないとする自治会からの要請に応じて、水原バイパスの一部法線変更の請願を採択したもので、反対決議などはしていない。

答弁 私の誤解から関係者に不快な思いをさせたことに対してお詫びし、発言を取り消したい。

質問 議会は水原バイパスの整備促進に反対の意思は持っていない。旧水原町時代には、執行部と議会が一体となって事業採択に向けて努力してきた経過がある。市民交流エリアの問題でも、地元の人たちから出店してもらい

利益を得てもらおうと言っているが、地元の商業者からの出店意欲は聞こえてこない。市長のやる気が見えてこない。

答弁 新潟国道事務所などにもお願いに行っており、私なりに努力をしている。9月議会での市民交流エリア基本設計業務委託料の否決は市長選挙を意識した「政局」になっていると考える。



議会欠席議員問題の対応と議会改革の推進

市議会9月定例会会期中の9月8日、中島正昭議員がゴルフのため本会議を欠席したことにつきまわしては、議員として当然あつてはならないことであり、市民の皆様深くお詫び申し上げます。

議会全体の問題としてとらえ、議員一人一人が襟を正し職務にあたっていかなければと全員で確認したところでもあります。

この問題の、これまでの議会の対応につきまわしては、事件発覚後議長として厳重に注意を行い、事の重大性を十分認識し議員としての身の処し方について自ら考えてほしいと伝えました。そしてこの問題を議員全員が共有すべく議場で報告を行い、議員は自らを律し、市民の負託に応えていくことと再発防止を確認したところです。

中島議員は議場で謝罪し、9月22日付けをもって産業建設常任委員会委員長、議会運営委員会委員長、議会だより編集特別委員会委員を辞任しました。今、議会は市民に身近で開かれた議会、市民の負

託に応えられる議会であるため議会基本条例を制定し改革を進めています。

真に市民の代表として信頼される議会を目指し、真剣に取り組んでまいります。

阿賀野市議会議長 清水 友行

私の軽率な行動が、市民の皆様への信頼をそめて関係各位の期待を損ない、また議長はじめ全議員には、市民の負託に応え開かれ質の高い議会を目指して議会基本条例を策定し改革を進めている最中、申し訳なく心よりお詫び申し上げます。

議会常任委員長、委員の辞任と併せ、猛省し、初心に振り返り襟を正し肅々と職務を全うさせていただきます。と改めてお詫び申し上げます。

中島 正昭

常任委員会の活動

平成23年10月20日、11月7・18日、12月7日に所管事務調査を行いました。

一 阿賀野市消防本部署所再編計画について

この計画は消防機関が住民の生命、身体及び財産を火災等の災害から保護するため迅速かつ効果的に対応できるように署所の再編を行うものです。再編案は、人員、車両の配置・出動体制をしっかりと整え、より効果的かつ効率的な消防体制で市民生活の安全・安心を確保するために適正に署所を配置するもので、老朽化した分遣所を拡充新設、適正位置へ移転し、しっかりとした災害対応の拠点を構築するとしています。

二 水原中学校改築実施設計について

工口化設備（太陽光発電、LED照明導入）、災害対応、安田瓦の活用等について教育委員会の方針を聞きまわした。地場産安田瓦は屋根部分としての活用、屋根以外の新しい活用案で、安田瓦協同組合と今後詳細を協議していきます。全体事業費は、工口化設備工事費や工事監理業務委託費・備品購入費などの付帯経費が増額

三 阿賀野市地域防災計画について

この計画は防災のために処理すべき業務などを具体的に定めた計画です。（水防計画は別にあります。）内容は、災害の種類ごとに一般対策編、地震災害対策編、雪害対策編、資料編で構成され、予防、応急対策、復旧・復興について、職員の配備体制及び動員計画、災害対策本部の組織・運営計画、避難及び避難所計画、自主防災組織育成計画、災害時要援護者の応急対策が定

四 市民交流エリア整備事業について

市民交流エリア準備委員会では、整備計画立案に向け取り組んでまいりましたが、必要とした調査・基本計画作成委託料予算の9月議会議決結果を受け、活動方針を協議した結果、当分の間活動休止となるものの解散せず、今後は状況により対応することを確認しました。当面、市は事業計画地内の地権者との事前協議など用地の調整を行う予定としています。

今後、説明会や、パブリックコメント等が予定されています。安全・安心の面から不安を与えないよう市民の理解を得て計画を進め、分遣所を新設する場合は出動体制に支障がないようになっています。



阿賀野市消防本部・署

しますが、国の3次補正予算対応による財源の早期確保など、有利な財源活用を図っていきます。26年度の事業完了を目指し、24年度早々から工事が入札執行されます。地元業者が広く多く施工できるようにという観点から、本体工事も含め分割発注を考慮に入れるよう望みます。

められています。

今後、土砂災害対策編の追加を予定、また国、県などの原子力安全対策の近況を踏まえ、原子力安全対策に関する部分も検討されています。

このような防災計画があつても、7月の新潟・福島豪雨に避難勧告した際、対象者の約9%しか避難しなかった状況を検証し、安全・安心なまちづくり、防災対策への取り組みを要望します。

議会としては、この事業自体を否決したわけではないので、この機会に将来の市にとつての重要施策として事業内容を市民に広く知ってもらつた活動としてはどうかとの提言を行いました。また、合併特例債の期間延長は状況によりこの事業の展開にも影響がでると考えられるため、国の情報等は早目に議会へ提供することを執行部に要望しました。

総務文教常任委員会

○閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

- (1)水原中学校改築実施設計について
- (2)阿賀野市消防本部署所再編計画について